

平成 2 4 年度第 3 回

流山市地域包括支援センター及び地域密着型サービス運営協議会議事録 要旨

1 開催日時

平成 2 4 年 9 月 1 3 日（木）

1 7 時 3 0 分から 1 8 時 3 0 分

2 開催場所

流山市役所 3 0 1 ～ 3 0 2 会議室

3 出席者

委員

恵会長、大津副会長、

渡部委員、岩井委員、池上委員、鈴木（孝）委員、小山委員、奈良
委員、安藤委員、

出席 9 名・欠席 7 名

4 議題

(1) 地域密着型サービスの運営基準等の条例化について

(2) 地域包括支援センターの職員の変更について

(3) 平成 2 4 年度グループホームの公募について

(4) その他

5 議事（要旨）

・会長

本日の出席の状況報告。委員 1 6 名のうち欠席 7 名で、半数以上の出席により協議会が成立していることを報告します。

議題（1）地域密着型サービスの運営基準等の条例化について、事務局から説明を。

・事務局

議題（1）について。前回の会議で諮った条例案について変更等があ

り、内容についても見直しをしたため、この条例案の制定について手続きをすすめていくことについて諮りたい。

今後パブリックコメントにかけるため、法規部門等の審査にかけたところ、内容が膨大なため条例の意図するところを伝えることが困難であり、市民に分かりやすいようにと指示があった。

10月に市民参加条例の施行後は、パブリックコメントや諮問・答申を経て条例を定めることとなっており、今後は流山市福祉施策審議会に諮問した後、パブリックコメントにかけることとなっている。

条例案は2つになった。

「基本方針」という規定がある。ここは条例化しても改めて掲載し強調したい。この基本方針と市独自の規定部分だけを残して、残りは削除し、条例の規定したところ以外は厚生労働省令の基準に従うことにした。庁内の法規審査でも適切であると判断されており、運用については法令上問題ないと認識していただきたい。

今後は条例案1-1の3ページのスケジュールにのっとり、条例制定に向けて進めていく。

福祉施策審議会の答申を9月24日にいただき、事業所への説明会を今月中に行い、10月15日～11月14日にパブリックコメントを実施する。次回12月の会議の際に、パブリックコメント実施の結果を報告し、条例案を市議会に上程したい。

来年3月の市議会に条例案を上程する予定だが、1月に臨時市議会がある可能性があり、臨時市議会があった場合には条例案を上程し、4月1日の条例施行に間に合わせたい。また、議会上程前の12月と施行前の3月に事業者への説明会を行い、4月の施行に向け準備していきたい。

市独自の内容は前回10項目あったが、資料のとおり8項目にした。地球環境に配慮した事業活動をとという部分について、法規審査の場で環境活動については、市の環境基本条例など環境の諸計画に述べられているので、同様の規定は必要ないのではないかと意見があり、この条例案からは削除した。

もうひとつ、事業者が介護報酬を請求する際の資料を5年間保存するという規定をしたいと思っていたが、事業者から負担になるという意

見があった。事務局として不備がないか再検証したところ、国保連では請求データを保存しており、市の介護保険システム内にも情報として送信されており、請求状況を確認できる方法があることが確認されたため5年間保存という規定は今回は見送ることにした。

- ・ 委員

大幅に見直しをしてきた。現行の厚生労働省令の基準にあるところは、あまり厚い条例では市民にも事業者にも分かりにくいことから、この案で良いのではないか。

改正内容も、独自の2項目減らしたところも、敢えて規定する必要がないことや、他の資料で対応できるものであることから、書類の保存も2年間でよいのではないかとということで賛成したい。

スケジュールでもあったが、福祉施策審議会にかけ、9月12月3月と、事業者にも丁寧に説明をお願いしたい。

- ・ 会長

内容としてはすっきりしたという感じか。わかりやすくすっきりした方が伝わりやすい

- ・ 事務局

300条にわたる条例案を上位の会議に持ち込んだところ、市民は何を言いたいのかわからない。厚生労働省令があるのならば、独自の部分だけ条例にしてはどうかと意見があった。

- ・ 会長

ただ今の説明について、見直し後の条例案について今後パブリックコメント等の手続きをすすめていくことでよいか。

(賛成)

- ・ 会長

議題(2)地域包括支援センターの職員の変更について、事務局から報告を。

- ・ 事務局

中部地域包括支援センター、東部地域包括支援センターについては既に受理しており、今回は事後報告となる。

北部地域包括支援センターについては、10月1日のことで、本日の会議の後に受理となる。

中部地域包括支援センターについては、法人内の人事異動によるもので、看護師に変わり保健師が配置されることとなった。地域包括支援センターの人員基準では保健師が必要であり、変更の届出を受理した。東部地域包括支援センターについては、事務員の体調不良による退職と新規事務員の採用を受理した。

北部地域包括支援センターについては、9月30日に事務員の一身上の都合による退職で、後任を募集していると報告を受けている。

- ・ 会長

北部は後任がすぐ見つければ、10月1日からの採用となるか。

- ・ 事務局

その方向だが、決まった際はまた会議の場で報告する。

- ・ 委員

中部は増員になるのか。

- ・ 事務局

常勤専従の看護師と交代となる。

- ・ 委員

6月に社会福祉士を増員したところか。

- ・ 事務局

そうです。社会福祉士は2名配置している。

- ・ 会長

ただ今の内容については承認するということによろしいか。

（賛成）

- ・ 会長

最後に（3）その他として、平成24年度グループホームの公募について事務局から。

- ・ 事務局

グループホームの建設については平成25年度にグループホームの建設をしていただく事業者の公募を、来週9月21日から10月26日に行う。

ホームページ、広報ながれやま9月21日号で周知し公募する。募集数は、市内で整備量の少ない南部地域限定で2ユニット1施設公募したい。前回の公募の際の選考基準を示しているが、今日意見を頂いて

選考基準を検討し、再度委員の皆様に郵送でお知らせしたい。

10月26日の締め切り後に審査を行い11月から12月ごろに選考委員会を行い運協の意見を頂いて決定する。

- ・事務局補足

南部地域限定で建設することを条件として25年度中に建設し26年度に事業をスタートすることを条件としている。

公募用件は、法人格を有していること、介護保険法に定めるペナルティを受けている等の不適格用件がないこと、関係法令の基準を満たしている等が基準である。また、建設に関わる諸書類や資金計画等を出してもらう。

選考方法は、副市長をトップとした流山市地域密着型サービス拠点等整備事業選考委員会により、公募が複数あった場合には最も優れた事業者を、1か所であった場合には基準を満たしているか確認する。

今回提示した選考基準は、前回の選考基準そのままである。これをベースに重視すべき点等ご意見を頂き、見直すべきは見直していきたい。立地や資金計画、人材確保、安全確保などの計画や地域との連携についての取り組み方針などを考えている。

ご意見を頂いてまとめたことは、内部決裁の後で委員の皆様に郵送により報告したい。

- ・委員

公募した場合、書類は完璧で話術巧みなプレゼンテーションをしていたが、実際の運営がよくないと言う事例があった。

- ・事務局

別の部門でも、委託業者を選定する際に、プレゼンテーションをするための人を雇い、とても見やすい資料、完璧な説明と質疑をするが、実際業務を始めるとプレゼンテーションをした人は退職しているということがあった。貴重なご意見として気をつけていきたい。

- ・委員

募集要件の前に、応募するための資格条件はないのか

- ・事務局

基本的には、法人格を有し介護保険法上の罰則を受けていない等の最低限のハードルはクリアしている事業者であれば門戸を開いている。

それ以降は選考で絞り適切な事業者を選定していきたい。

- ・ 委員

法人でも資金力、人員のうちの有資格者などについて、未然に知った方がいいのではないか。

- ・ 事務局

ご指摘の点は反映させていただきたい。公募については資金計画を出していただくので、自己資金の多寡や借入金残高等の資金面も確認していく。

- ・ 会長

選考方法について、副市長以下関係部課長の選考委員会のち地域密着型サービス運営協議会の意見を聴取、とあるが、そこは省略して事後報告ということか。

- ・ 事務局

選考方法が前回の公募要領のコピーでそのまま残ってしまった。正しくは、選考委員会で選考をし、市長が決定するとしたい。

- ・ 委員

選考基準にはないが、年末年始について。職員の関係もあると思うがショートステイに振り分ける施設があると聞いた。そのような対応が認知症の方にいいと思えない。そのあたりはどうか。

- ・ 事務局

以前はそのようなことがあったと聞いているが、現在は24時間365日の運営でお願いしたいと言ってある。もし、現在もそのようなことがあると聞いたらご連絡を頂きたい。

- ・ 委員

グループホームの方は本来ショートステイは使えないはず。4年ほど前にあったかと思う。その時は驚いたが、今はそのようなことはないと思う。

- ・ 委員

可能性として、意図していないがそうなったということもある。

家族が年末年始の外泊で連れて帰ったが、介護しきれずに施設にも戻せないなど、偶発的出来事としてあったかもしれない。

- ・ 委員

本人も家族も帰りたいといって帰宅することもあるが、家族が1日もしないでお手あげになることもある。

- ・ 会長

この件についてはご了解いただけるか。

（了解）

最後に（４）その他について、事務局から。

- ・ 事務局

他市のグループホームの利用の案件について報告したい。

8月30日に柏市のグループホームに入居中の男性について。家庭の事情により流山市に転入することになったが、ようやくグループホームに慣れてきたところで環境が変わると不安定になるのではないかと心配なので、現状のグループホームに引き続き入居したいと家族から申し出があった。

柏市に利用の同意の依頼をし、利用同意の回答が柏市から届いた。グループホーム運営事業者指定申請のための書類等の提出を依頼しているところである。

利用者は9月1日に流山市に転入していることから、9月1日にさかのぼって事業者指定を行う予定である。

- ・ 委員

指定の際には見に行くか。

- ・ 事務局

以前にもご指摘いただいております、なるべく早い時期に施設を見に行きたいと考えています。

- ・ 会長

ただ今の報告については承ったということで進めたい。その他事務局から。

- ・ 事務局

今回は12月13日木曜日、17時30分から第1庁舎3階の庁議室で行う予定。